



力をつける

今日の言葉

「優れた授業・研修には型がある」

平成29年7月19日

フラッシュ型教材作成体験研修へのご参加ありがとうございました。



先日の校内研修（フラッシュ型教材作成体験研修）では、学期末のお忙しい中、そして灼熱の教室での開催にもかかわらず、多くの先生方にご参加していただきました。ありがとうございました。いかがだったでしょうか？また落ち着かれましたら、感想をお聞かせください。決して言い訳ではありませんが(^^;)、以下、今回の研修について補足させていただきます。

●研修の内容について

この研修はICT活用研修でしたが、先生方にはあえてICTを操作していただきませんでした。「ICTを使って大きく映して子どもに情報提示することは重要」ですが、それと同時に「学習指導案には現れないような細かい指導技術（問題はスモールステップで、「易→難」の順で提示する・子どもの反応を予測した明確な発問・指示をする）」が大事」ということをお伝えしたいと思っていました。それが研修のゴール（結論）でした。

●研修の構成（流れ）について

また、研修は右のように進めました。①で先生方をステージにあげ、研修の見通しをもっていたいただき、②③で体験しながら学んでいただき、④で少し難しい話も交えながら今日の研修内容を価値付けします。

このように見ていくと「**研修は授業である**」と言えるのではないのでしょうか。**優れた授業・子どもが主体的に動く授業には型がある**ように、**優れた研修にも型があります**。（と私の師匠に全部教えていただいたことです…）

●フラッシュ型教材活用研修の流れ

- ①研修の趣旨説明（めあての提示）
- ②模擬授業（子どもの立場で体験）
- ③作成体験WS（先生の立場で体験）
- ④研修のまとめ（価値付け）

この夏、様々な研修を受講される機会が多いと思います。研修内容もちろんです、研修担当者や講師の先生・研修会場の工夫を見つけたり、授業と研修を比較してみたりすることも、研修を受ける面白さかもしれません。

【文責：片山淳一】